

家族の看病で気づいた事

河原子中 三年

林 愛心

みなさんは、自分の身近な人が病気になっ
てしまったらどうしますか？私は、初めて祖
父と祖母が病気になっ
てしまいい、自分が手
伝いや身の周りの事をやるようになって改め
て家族の大切さについて理解することができ
ました。そんな祖父と祖母の出来事を通して
学ばた事を紹介しようと思います。

まず、私の祖父についてです。私の祖父は

認知症という病気にかかっ
てしまいました。認知症は、進行が止まるという病気ではない
ので、毎日少しずつ物忘れがひどくなっ
てい
ます。そんな日々の生活の中で私は、人と関
わると脳が活発になると聞いたことがあ
った
ので少しでも多くコミ
ュニ
ケー
ションを取り
進
行をおさ
えよう
と努力
しました。い
つ
もは
な
に
げ
な
い
会
話
を
し
て
い
る
の
に
、
い
ざ
話
そ
う
と
思
う
と
、
な
か
な
か
話
題
が
見
つ
か
ら
ず
、
話
が
続
か
な
い
こ
と
も
多
々
あ
り
ま
し
た。
し
か
し
、
毎

日少しずつですが、祖父と会話をしていたので進行を遅らせることができ、そして祖父の笑顔が多々見えるようになり、私もうれしくなりました。私は人のために努力をすれば、その人が良い結果だった時一緒になつてワイワイ喜ぶるということに気がつきました。これは祖父との出来事があった気づけたことなので、祖父がいてくれてよかったです。ありがとうございました。

次に私の祖母についてです。私の祖母は、がんという病気にかかってしまった。その事実を知った時、私はとてもショックでした。しかし、一番ショックを受けているのは祖母だと思い、自分は一生懸命励まそうと思いました。毎日入院中の祖母に手紙を書いたり、会いに行ったりして、祖母を励まそうと頭をひねりながらがんばりました。また、薬の副作用で手などがしびれ、重い荷物が持たない時は、持ってあげたりして、少しでも負担をなくそうと気を配りました。その結果、

祖母には笑顔が増え私も一緒に笑いあえる日々になりました。この出来事を通して、私の母や父も私が風邪などの病気になっってしまった時、励まして笑顔になってもらおうとがんばってくれているのかなと思いました。

私は家族の看病を通して、家族の大切さや人のために努力することの大切さを学ぶことができました。今までは、家族が私を心配することはあまりありませんでしたが、思っていました。だが、祖父や祖母との出来事を通して心配し

てくゆる事は私にとってうれしい事だと改めて感じる事ができました。また、コミュニケーションを取る事は人々を幸せにしたり笑顔にする大切な方法だと知りました。私の夢は教師になることなので、福祉とは違う形であります。コミュニケーションをたくさん取り、教師という職業に将来ついて、人々を助け笑顔にしていきたいと思いました。また、やってもらおう事があたりまえと思わず家族に感謝して何事にも取り組んでいきたいです。